

令和6年度

教育学部

帰国生徒選抜

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は、表紙を含めて2ページ、解答用紙は4枚、下書き用紙は1枚です。
試験開始の合図があってから確認してください。
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れなどがあつた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 試験開始後に、すべての解答用紙の指定欄に受験番号を記入してください。
氏名を書いてはいけません。
- 4 解答は、指定された解答用紙に記入してください。
指定された解答用紙以外に記入した解答は、評価(採点)の対象とはしません。
- 5 配付された問題冊子及び下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。

令和6年度富山大学帰国生徒選抜

見本

小論文
問題訂正

○11月29日(水)

小論文 9時30分試験開始 教育学部

出典

(正) PHPビジネス新書 より抜粋 (一部改変)

(誤) PHPビジネス新書 より抜粋

次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

◆ 英語が苦手だと、就活では相当不利？

昔も今も、会社にとって、英語でビジネスができる人材というのは、非常に魅力的です。特に、最近グローバルに展開する会社が多くなっているため、英語力は採用において一つの評価ポイントとなります。

ただし、個人的な見解としては、TOEICの点数とビジネスにおける英語力はあまり関係ないと思っています。TOEIC 900点以上のレベルであれば話は別ですが、多少点数が高めだからといって、実際の場面ではそれほど流暢に英語を使いこなせないケースが多いことを、会社側もわかっているからです。

もちろんTOEICなどの点数が高ければ、全く英語ができない人よりも、英語でビジネスを行う環境に対応しやすい、少なくともストレス耐性はありそうだという受け止め方はします。しかしだからといって、英語ができるなら、すぐに海外事業部に入れよう、という判断にはなりません。

会社にとって一番大切なのは、どれだけ仕事ができるかです。仕事の流れや仕組みを覚えてもらって実践で通用するようになってから、英語を武器に、海外に行って来いという流れになります。だから、たとえ英語がすごく堪能であっても、仕事ができなければ意味がないわけです。

よく中学生や高校生のときに海外に滞在した帰国子女(注：原文ママ)は、外資系企業の採用では有利だと思っている人が多いようです。しかし実際には、学校で使っていたのは子供の英語であって、ビジネスでは通用しません。それよりも日本で過ごしてきて、たどたどしい英語しかしゃべれなくても、ビジネスを知っている人のほうが、よほど活躍できるのです。英語はあくまでもツールであって、それをいかに仕事の中で使っていくかという考え方をもつことが必要です。(後略)

出典：

横瀬勉 2010 人事のプロは学生のどこを見ているか PHPビジネス新書 より抜粋

問1 英語の能力は就職活動にとってどのような意味をもっていると著者は考えているか。400字以内で説明しなさい。

問2 上の文章を踏まえたうえで、小学校における外国語教育(外国語活動・外国語科)のあり方についてあなたの考えを1,200字以内で説明しなさい。

見本

下書き用紙